

139号

令和5年5月20日

奇数月発行

音響の本らぼん

編集担当

藤井紗綾子(富山)
堀 裕一(石川)
西島 理(福井)

編集・発行人 高野 仁 富山市舟橋北町7-1
(富山県教育文化会館)
電話・FAX 076-441-8635 jin65064@gmail.com

優良ホール100選に高岡市生涯学習センターホールが認定！

杉本 慎介

この度、優良ホール100選に高岡市生涯学習センターホールが選定されました。富山県内として8施設目の選定となります。施設としてはオープンして19年目となるのですが、令和4年度に指定管理が公益財団法人高岡市民文化振興事業団に移行しました。私はその指定管理移行のタイミングで事業団に入職しホール担当として勤務しています。センターホールは400席の小ホールですが、クラシックスタイルのシューボックス形式、幕舞台のプロセニウム形式、座席を全て取り払った平土間の形式と変幻自在のホールです。そのためホールの利用者は、ピアノの発表会や舞踊の発表会、机を並べての講習会や展示会等多岐にわたります。当然利用する人もプロの方から素人の方まで様々です。

指定管理者が変わるということは前の指定管理者と比べられるということで、少しの対応の違いで悪い評判にも良い評判にもなります。私が心掛けているのはどんな利用者にも寄り添った対応をすることです。一見無理な要望でもどうにか実現することはできないか、または他の方法で解決することができないかを考えています。今回、優良ホールに選定していただいたことを誇りに思い、更に使いやすいホールとなるよう運営をしまいたいと思います。

(高岡市生涯学習センター)



高岡市生涯学習センターホール



ホールスタッフの方々

全てが革新的 次世代 ワイヤレス・インカム

RIEDEL

BOLERO WIRELESS INTERCOM

アンテナとベルトバックだけで運用できる"Standalone"バージョンと、Artistインカムシステムと統合して使用できる"Integrated"バージョンを選択可

OTARITEC オタリテック株式会社 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田3-30-16 TEL:03-6457-6021 www.otaritec.co.jp

第17回日本音響家協会北陸支部 定時社員総会&支部会員交流会報告

5月9日（火）に金沢歌劇座・第7会議室にて北陸支部の第17回定時支部社員総会を開催致しました。昨年度はコロナ禍ということもあり、対面とオンライン配信のハイブリッド形式での開催でしたが、今年度は従来の対面のみでの開催とさせて頂きました。

2022年度事業報告、決算報告、監査報告ならびに2023年度事業計画（案）予算（案）につきましては、全て承認を頂きましたことをご報告させて頂きます。
今年度も複数のセミナーを予定しておりますので、皆様是非ご参加ください。

社員総会、第1回音響セミナー後に支部会員交流会を開催致しました。会場は金沢のイタリアンバル「NAPOLI KANAZAWA」。珍しく海鮮料理ではないと思われたかもしれませんが、参加者の半数を占めるのは石川県民も戦々恐々とする、舌が肥えている富山県民。下手な海鮮料理では満足させられないと考え、イタリアンを選択した名幹事さん。スタート時間は少し早い17時30分。セミナー会場からの移動を考慮しても時間が少々ありましたので、全員で金沢21世紀美術館へ移動し、交流ゾーンを散策してお腹を空かせてから交流会会場へ向かいました。

交流会は支部総会、音響セミナーが無事に終えられたことの感謝と今年度も一致団結し、事業の成功を願い、支部長の乾杯で始まりました（山本広志さんの2023年度日本音響家協会賞受賞もお祝いしたかったのですが、山本さんが急用のため欠席となり残念）。

料理は魚介のマリネ、サーモンのシーザーサラダ、生ハム2種盛、アサリとムール貝の白ワイン蒸し、牛ホホ肉のトロトロ煮、窯焼きピッツァ2種、シェフのおまかせパスタ、ドルチェ等の多くの料理でお腹いっぱいになりました。そしてビールやワインをおかわりする声も多く飛び交っていました。音響セミナーと交流会の参加人数は同数。音響セミナー受講後に帰られた方は5名。交流会から参加された方も5名。お酒好きが集まる支部なのでしょうか？楽しい2023年度のスタートとなりました。次回は暑気払いでしょうか。



会員交流会の様子



Vi2000™

Soundcraft
HARMAN

会場を思いのままに制御する
オールインワンのデジタル・ミキサー
「Vi3000」のコンパクト・モデル

ヒビノ株式会社 <http://www.hibino.co.jp/>



北陸支部2023年度 第1回音響セミナー 「Danteセミナー入門編」 報告

藤井 紗綾子

令和5年5月9日（火）に金沢歌劇座 第7会議室（石川県）にて（株）ヤマハミュージックジャパンの三星龍生氏を講師にお迎えし、『Danteセミナー入門編』を開催しました。

今回のセミナーは、音響システムとして普及しているDante機器の仕組みやシステムについての概要、オーディオネットワークを導入する際のメリットや、よくあるトラブルシューティングについて実機を交えて講義を行って頂きました。

近年ホール設備などに多く導入されているオーディオネットワークシステムの中で、AoIP規格のDante対応音響卓とI/Oデバイスを会場で接続し、Danteの特徴や正しい機器の接続方法を学びました。また、Danteコントローラーを使いトラブルが生じた際に、状況モニターする方法やその情報を保存する手順など、丁寧に教えて頂きました。

今回はYAMAHAさんのご厚意でVSTプラグイン用ソフトウェア『VST Rack Pro』を付属したDante・USB対応のI/Oラック『RUIO16-D』（YAMAHA）や小型のデジタルコンソール『DM3 Standard』（YAMAHA）の最新機器展示も合わせて行われ、会員の皆さんも実際に機材に触れて操作性などを確認する事ができ、大変有意義なセミナーとなりました。

セミナー終了後、会場近くにある21世紀美術館でアート鑑賞をし、約3年ぶりに北陸支部会員交流会が『NAPOLI KANAZAWA』で行われました。会員の皆さんも久々のアルコール解禁!!美味しい食事と会話で大いに盛り上がりました。

（富山県民小劇場）



セミナー風景



機器展示

 **YAMAHA**
Make Waves



▲ Web サイト



▲ Facebook

ヤマハサウンドシステム株式会社

金沢歌劇座建て替えについて

山口 雅照

数年前から地方紙をたびたび賑わせている金沢歌劇座の建て替え問題。近年は金沢の中心地にある日本銀行金沢支店が今年度移転ということで、その日銀跡地への移転、現敷地での建て替えの2択状態でした。舞台関係者、利用者、設備業者の方々から数え切れないくらい質問された「歌劇座どうなるん？」問題でしたが、先日の「金沢歌劇座のあり方検討懇話会」が日銀跡地と現敷地との比較をした結果、現敷地での建て替えが総合的に優位との結果を出したことで、漸く前進しました。

日銀跡地への移転は舞台関係者であれば誰もが厳しいのではと思っていたのではないかと思います。検討したプロセスが大事。ただ、現敷地での建て替えの場合でも問題はあります。現敷地エリアの建物の高さ規制が18mとなっており（現在は20mで不適合な建築物）、使い易い劇場を建築するとなると地下へ掘り下げるしかなく、そのためには膨大な工事費用が発生してしまいます。また、景観を保護するための高さ規制の条例を緩和するのは難しそうな雰囲気を感じます。

建て替え時期が気になりますが、建物の耐用年数を65年とした場合、あと4年程度になるので、そう遠い未来ではないのかもしれませんが。勝手に新しい金沢歌劇座をイメージしてしまいますが、令和6年度以降の金沢歌劇座の指定管理者については公募のため、それどころではない状況です。個人的な要望は山のようにありますが、とりあえず下記の3つは解消したいところです。

一つ目は舞台上に収納されている天井（正面）音響反射板を舞台後方なりに格納したい。格納時の天井（正面）音響反射板が美術バトンと近く、奥行きのあるセットの昇降が出来ないので、バトンはあるけど使えないみたいな。そもそも全てのバトンがボーダーとも近いので、昇降時に気を使わなくて済むバトンは半分位しかありません。

二つ目はツアーイベントでLEDパネルのスノコ吊りが増えているので、作業をしやすい足場にして欲しい。冬に訪れた札幌文化芸術劇場hitaruのスノコが理想でした。高さ規制があるなか、スノコの高さを確保することは難しそうです。また、建築家はここまで把握していない可能性があるため、誰かに言って欲しいところです。

三つ目は建て替えに関して座席数と舞台上の広さがピックアップされていますが、袖中の広さも考えて欲しい。富山県のオーバードホールから金沢歌劇座へ来たツアースタッフが「四畳半じゃん」といった言葉がずっと頭の中に残っています。機材ケースを2段、3段にしても袖中で収まらないケースも。とりあえず、「歌劇座どうなるん」の質問は無くなりつつあると思いますが、「歌劇座いつ建て替えるん？」の質問は続きそうです。

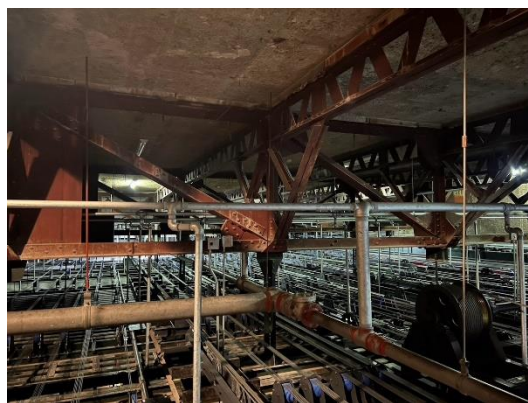
金沢歌劇座の建て替えにご興味のある方はこちらに正しい情報が掲載されています。

<金沢歌劇座のあり方に関する検討について>

<https://www4.city.kanazawa.lg.jp/soshikikarasagasu/kikakuchoseika/gyomuannai/1/2/6369.html>



札幌文化芸術劇場hitaruのスノコ



金沢歌劇座のスノコ

心に響く音づくり

音響計画・コンサルタントから
音響設計・監理・測定・運用協力

浪花千葉音響計画有限会社
Naniwa Chiba Acoustics Inc.

〒160-0006 東京都新宿区舟町1番地13(スリーオークビル4F)
Phone 03-5919-1081 Fax 03-5919-2256 URL <http://www.nca.co.jp/>

今懐かしい記憶メディア(DCC)

西島 理

コンシューマ向けオーディオの世界は舞台や放送局用のオーディオ（音響）の世界と同じようで、かなり違った面を持っていることは皆さんご存じかと思います。例えばヘッドホンのケーブルを3〜5万円の物に交換したり（リケーブルと言うそうです）電源の壁コンセントはメッキ入りがいいとか、いやメッキ入りはダメとか。私自身も自宅にオーディオルームがあるので、その世界観を否定はしませんし、何なら片足突っ込んでいる状態です。そんなマニアックな世界までには到達していませんが、オーディオ記憶メディアも同様で、一般化し劇場などで使われることなくいつの間にか消えていったものもいくつかあります。今回紹介するDCCもその代表例でしょう。DCC（デジタルコンパクトカセット）はカセットテープとほぼ同じサイズでデジタル記録を行えるメディアとして1991年に登場した規格です。記録形式としてはカセットテープ同様の固定ヘッドを用い、CD音源の1/4程度に圧縮して最大120分の録音が可能です。DCCのメディアとしての特徴は、カセットテープと同様にA面B面があります。しかし、オートリバース前提の規格であるため、A/B面の間違いが起こらないようハブ穴は片面だけとなっています。また、通常は金属製のシャッターでハブ穴とテープローディング用の窓がふさがれており、デッキに入れたときのみ開くようになっています。これはDCCの記憶トラックが非常に細い（カセットテープと同じテープ幅に片面9トラックで計18トラック！）ので指紋やほこりなどでエラーが発生しないように保護されています。

DCCの最大の特徴としては従来のカセットテープと似た構造にすることによって、DCCプレーヤーで従来のカセットテープも再生できるという点が挙げられます。しかし、それ以外でDCCの利点は？と言われると突出して挙げられるのはあまりありません。DCCが普及しなかった最大の要因ですが、ほぼ同時期にMD（ミニディスク）が発表されたことに尽きるかと思います。

比較すると

- ・DCCやカセットテープに比べコンパクト

- ・メディアの劣化が少なく耐久性がある

（特にカーオーディオで灼熱の車内に置いておくとDCCのあの繊細なトラック構造では厳しいでしょう）

- ・MDはランダムアクセスに優れ、編集も容易である

といった感じでMDのメリットに対してDCCは防戦一方に近い状況です。

また、同じデジタルテープメディアでもあるDATと比較した場合、DCCと価格差がそれほどないのも大きな要因だったかと思います。

最終的にDCCは発売後数年で見なくなってしまったのですが、当時なにを思ったのか、DCCのソフトを1本入手していました。現在も当時を懐かしむ意味もあり保管しています。

（参考：Wikipedia）

（ハートピア春江）



シャッター開放



パッケージケース

感動を支える、伝統と革新

Morihei

森平舞台機構株式会社

本社 〒111-0033
東京都台東区花川戸二丁目 11 番 2 号
TEL(03)3842-1621（代表）

北海道・東北・富山・名古屋・

大阪・九州・埼玉・栃木

♪♪♪♪ 編集後記 ♪♪♪♪

本編にも掲載しましたが、北陸支部会員の勤務する高岡市生涯学習センターホールが優良ホール100選に認定されました。会員としても個人としてもとても嬉しい情報でした。高岡市生涯学習センターホールのスタッフの皆様の日頃からの努力の賜物と深く敬意を表するところです。

私自身も今回認定を受けた高岡市生涯学習センターホールのスタッフを見習って、勤務するホールをお客様が使いやすいホールにしていこうと思った次第です。
(高野 仁)

※重要なお知らせ

北陸支部情報誌「小音響かわらばん」は141号(令和5年9月発行予定)より電子データをお届けする方法に変わります。現在、郵送でお手元に届いている方はお手数ですが、北陸支部コンタクトフォームから小音響かわらばんの配信をお申込みください。2次元コードからも北陸支部コンタクトフォームにアクセスできます。よろしくお願ひ致します。

北陸支部コンタクトフォーム

<https://www.seas-jp.org/contact/hokuliku/>



1級音響技術者技能認定
クリエイティブコース大阪開催

- 日 時：6月21日(水) 11:00~17:00
 - 会 場：大阪府男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
- 詳細は日本音響家協会HPにてご確認ください。

日本音響家協会北陸支部会員名簿

職場を異動になった人、住所が変更になった人は、事務局長までご連絡ください。(岩崎 証意 hokuliku@seas-jp.org)

- | | |
|-------|---------------|
| 稲村由香里 | (株)金沢舞台 |
| 井関 寿一 | フリーランス |
| 岩崎 証意 | 富山県民小劇場オルビス |
| 浦風 昭一 | 有限会社ショー・ワン |
| 江口 新一 | 金沢市民劇場 |
| 大野 吉信 | (株)開進堂楽器 |
| 大畑 雅之 | (株)イメージアップ |
| 加藤 敏久 | フリーランス |
| 木村純一郎 | 富山県文化振興財団 |
| 澤田 誠 | 入善コスモホール |
| 四折 貴之 | |
| 鹿野 浩司 | 株式会社 エスアールディ |
| 庄田 晃 | ぱふおくる |
| 新谷美樹夫 | L.F.I (株) |
| 杉本 慎介 | 高岡市生涯学習センター |
| 高木 智裕 | 富山県高岡文化ホール |
| 高野 仁 | 富山県教育文化会館 |
| 鷹栖 了 | フリーランス |
| 高畑 進 | (株)開進堂楽器 |
| 竹内 裕哉 | 株式会社 エスアールディ |
| 田嶋 友亮 | 氷見市芸術文化振興財団 |
| 寺 仁 | 金沢市民芸術村 |
| 永澤 清一 | 財団法人クロスランドおやべ |
| 中川 靖夫 | 富山県文化振興財団 |
| 永原 諒 | L.F.I (株) |
| 西 一彦 | フリーランス |
| 西畠 理 | ハートピア春江 |
| 藤井紗綾子 | 富山県民小劇場オルビス |
| 堀 裕一 | 金沢歌劇座 |
| 牧野 豪 | 金沢市民芸術村 |
| 水上 智之 | フリーランス |
| 水野 文雄 | フリーランス |
| 湊 晃 | 北日本放送 |
| 本 輝夫 | 聲音軒本舗 |
| 森山 茂 | エーブイシステム |
| 山口 雅照 | 金沢歌劇座 |
| 山崎 武志 | フリーランス |
| 山本 広志 | 高岡市民文化振興事業団 |
| 吉田 正勝 | フリーランス |



エムアンドエヌはいつでも皆様の
パフォーマンス・パートナーです

M&N 株式会社エムアンドエヌ
<http://www.mnsv.co.jp>